

## 2月の安全運転ごよみ

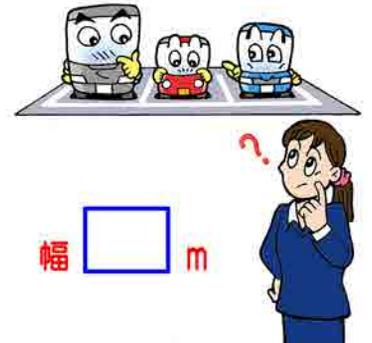
3日（火）…節分 4日（水）…立春 11日（水）…**建国記念の日** 19日（木）…雨水  
20日（金）…アレルギーの日 23日（月）…**天皇誕生日**

## 2月の安全運転目標

### 運転する車の死角とサイズを理解しよう

ご自身が普段運転する車の死角を理解することは、交通事故を防止するうえで非常に重要です。この死角を理解しない状態では、あらゆる交通事故に直結します。

また、クルマの長さや幅、高さ、ホイールベース（タイヤの位置）なども把握して、事故防止に努めましょう。

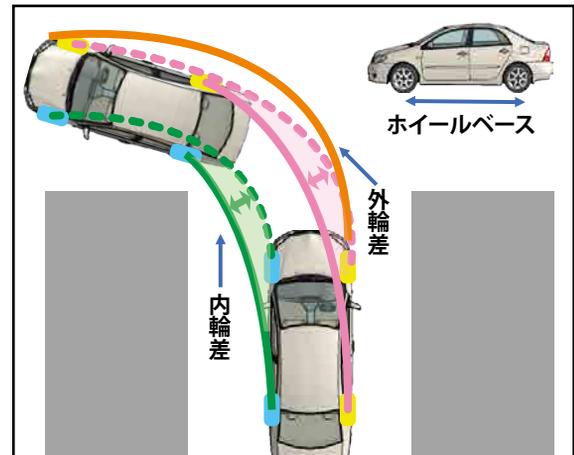


### 運転する車のサイズ、わかりますか？

サイズの中でも特に重要なのが、幅とホイールベースです。

この2つのサイズは内輪差や外輪差に影響を与えるため、把握していなければ右左折時の巻き込み事故を引き起こす要因となります。

また、トラックやミニバン、ワンボックスなどを運転する際は高さにも注意が必要です。立体駐車場や高架下を通過するときなど、高さ制限のある場所は運転場面で数多く存在します。



#### ○ 事 | 故 | 事 | 例



#### 「気付かなかった」 自宅駐車場で子どもが親にはねられ死亡

2025年10月20日午後6時ごろ、兵庫県内の住宅にある駐車場で、この家に住む1歳の男の子が、母親の運転する車にはねられる事故が発生しました。

警察に対して母親は「子どもに気付かなかった」と話しています。

車の周囲、とくに直前・直後には運転席からは全く見えない大きな死角が存在することを理解して、発進前の周囲の安全確認を怠らないようにしましょう。



## 車の死角に潜む危険を予測しよう

### 発進前の安全確認を徹底する

車の周りには、「死角」と呼ばれる、運転席から直接見ることができない範囲が存在します。

この死角は、車の大きさや形状に関わらず、前後左右に存在し、この範囲に小さな子どもや車止め、柱などがあっても認識できません。

特に、全方位モニターがない車の前方は、大きな死角となるため最大限の注意が必要です。また、左右も同様に、サイドミラーには映らない範囲がありますので、「見えない・映っていない＝安全」ではなく、車に乗り込む前に車を1周するなど、状況を目視でしっかり確認する習慣をつけましょう。



死角の存在を意識して、安全確認を徹底しよう

### バックカメラや全方位カメラなどの安全装置を有効に活用する

安全運転のためには、自身の目やミラーで安全確認を行うことが大前提で、バックカメラや全方位カメラなどの安全装置は補助ツールになります。

しかし、夜間や地下駐車場など、暗い場所でバックする際は、バックカメラで映し出されるモニター映像で障害物に気付くこともあるため、目視やミラーでの確認に加え、バックカメラも有効に活用しましょう。

また、全方位カメラやフロントカメラが装着されている場合、見通しの悪い交差点での徐行時に、前方の死角をモニターに映す機能もありますので、有効に活用して死角をなくし、交通事故に遭うリスクを少しでも減らしましょう。



カメラを有効に活用しよう

管理者として  
知っておきたい知識

### 車内での事務作業は「発進前」ではなく「到着後」

社車で外出されている際、アポイントの合間に車内でメール対応や資料作成などの作業をされる機会が多いことでしょう。

しかし、このような場合に特に注意していただきたいのが、発進時の接触事故です。乗車後に作業を挟むことで、乗車前に認識していたはずの周囲の障害物の存在を忘れてしまい、出発時に接触事故となるケースが多く発生しています。

このような事故を防ぐために、次の目的地に到着してから作業するなど、普段の行動を少し見直してみましょう。

